

私学助成署名推進ニュース

全国私学助成をすすめる会(事務局:全国私立学校教職員組合連合)
No.34 2023年12月15(金)

12・8「学費の公私間格差・自治体間格差是正を求める院内集会」その2

「今こそ国の責任で」「超党派で無償化実現を」

ご挨拶くださった国会議員のみなさん



倉林明子議員 牧義夫議員 野田国義議員 木村次郎議員 伊藤岳議員 池下卓議員 小宮山泰子議員 玉木雄一郎議員 山添拓議員 大椿ゆうこ議員 阿部知子議員 小沼巧議員



吉良よし子議員 宮本岳志議員 芳賀道也議員 福島伸亨議員 柴山昌彦議員 井上哲士議員 田村貴昭議員 桜井周議員 泉健太議員 舟山康江議員 高木まり議員 田島まいこ議員 福島みずほ議員



2023 12.8 学費の公私間格差・自治体間格差是正を求める院内集会 参加議員一覧

本人出席議員のみなさん				代理出席議員のみなさん				
お名前	選出	院	会	No	お名前	選出	院	会
今枝宗一郎議員	愛知	衆	自	1	工藤彰三議員	愛知	衆	自
倉林明子議員	京都	参	共	2	東国幹議員	北海道	衆	自
太田房江議員	大阪	参	自	3	坂本哲志議員	熊本	衆	自
☆ 牧義夫議員	比例東海	衆	立	4	青山大人議員	茨城	衆	立
野田国義議員	福岡	参	立	5	滝沢求議員	青森	参	自
木村次郎議員	青森	衆	自	6	平井卓也議員	香川	衆	自
伊藤岳議員	埼玉	参	自	7	鈴木馨祐議員	神奈川	衆	自
池下卓議員	大阪	衆	維	8	遠藤利明議員	山形	衆	自
田中英之議員	京都	衆	自	9	宮本徹議員	東京	衆	共
小宮山泰子議員	埼玉	衆	立	10	山際大志郎議員	神奈川	衆	自
玉木雄一郎議員	香川	衆	立	11	佐藤公治議員	広島	衆	立
近藤昭一議員	愛知	衆	立	12	上月良祐議員	茨城	参	自
本村伸子議員	比例東海	衆	共	13	安江伸夫議員	愛知	参	公
山添拓議員	東京	参	共	14	志位和夫議員	比例南関東	衆	共
広瀬めぐみ議員	岩手	参	自	15	榑淵万里議員	東京	衆	れ
大椿ゆうこ議員	比例	参	社	16	鳩山二郎議員	福岡	衆	自
神田憲次議員	愛知	衆	自	17	宗清皇一議員	大阪	衆	自
阿部知子議員	神奈川	衆	立	18	福山哲郎議員	京都	参	立
新妻秀規議員	比例	参	公	19	重徳和彦議員	愛知	衆	立
堂込麻紀子議員	茨城	参	無	20	中川貴元議員	比例東海	衆	自
古川元久議員	愛知	衆	国	21	大野敬太郎議員	香川	衆	自
小沼巧議員	茨城	参	立	22	山本博司議員	比例	参	公
瀬戸隆一議員	比例四国	衆	自	23	大塚耕平議員	愛知	参	国
○ 吉良よし子議員	東京	参	共	24	古屋範子議員	比例南関東	衆	公
☆ 宮本岳志議員	比例近畿	衆	共	25	丹羽秀樹議員	愛知	衆	自
芳賀道也議員	山形	参	無	26	吉田統彦議員	比例東海	衆	立
福島伸亨議員	茨城	衆	無	27	麻生太郎議員	福岡	衆	自
☆ 柴山昌彦議員	埼玉	衆	自	28	高島修一議員	比例北信越	衆	自
井上哲士議員	比例	参	共	29	山口晋議員	埼玉	衆	自
田村貴昭議員	比例九州	衆	共	30	磯崎仁彦議員	香川	参	自
小川淳也議員	香川	衆	立	31	穀田恵二議員	比例近畿	衆	共
☆ 山田賢司議員	兵庫	衆	自	32	齋藤嘉隆議員	愛知	参	立
桜井周議員	比例近畿	衆	立	33	船橋利実議員	北海道	参	自
泉健太議員	京都	衆	立	34	吉川元議員	比例九州	参	立
舟山康江議員	山形	参	国	35	熊田裕通議員	愛知	衆	自
高木まり議員	埼玉	参	立	36	階猛議員	岩手	衆	立
田島まいこ議員	愛知	参	立	37	木原稔議員	熊本	衆	自
☆ 山本左近議員	比例東海	参	自	38	大西健介議員	愛知	衆	立
福島みずほ議員	比例	参	社	39	松木けんこう議員	北海道	衆	立
☆ 森山浩行議員	比例近畿	参	立	40	牧山ひるえ議員	神奈川	衆	参
				41	根本幸典議員	愛知	衆	自
				42	横沢高徳議員	岩手	参	立
				43	神谷裕議員	北海道	衆	立
				44	三宅伸吾議員	香川	参	自
				45	近藤和也議員	石川	衆	立
				46	金子恭之議員	熊本	衆	自
				47	船後靖彦議員	比例	参	れ
				48	坂井学議員	神奈川	衆	自
				49	津島淳議員	比例東北	衆	自
				50	田中和徳議員	神奈川	衆	自
				51	中山展宏議員	神奈川	衆	自
				52	三川昭政議員	茨城	衆	自
				53	前原誠司議員	京都	衆	教
				54	伊藤孝恵議員	愛知	参	国
				55	石井拓議員	愛知	衆	自
				56	篠原豪議員	神奈川	衆	立
				57	里見隆治議員	愛知	参	公

※ 受付ご到着順で表記
※ 本人出席 = 40名
※ 代理出席 = 57名
議員関係 97名の参加

	本	代	計
自由民主党	11	30	41
立憲民主党	12	15	27
国民民主党	3	2	5
公明党	1	4	5
日本共産党	7	3	10
日本維新の会	1	0	1
社会民主党	2	0	2
れいわ新選組	0	2	2
教育無償化実現	0	1	1
無	3	0	3
計	40	57	97

	本	代	計
衆	21	41	62
参	19	16	35
	40	57	97

☆ …衆議院文部科学委員 8名
○ …参議院文教科学委員 5名

(以下、あいさつ要旨)

「教育の無償化は超党派ですすめるもの。政治の責任だ」(倉林議員)、「地元愛知のオータムフェスに4ヶ所参加した。高校生だけでなく父母が活発に私学をアピールしていた」(牧議員)、「1104億円で無償化できるとお話があった。財源をつくれれば無償化は可能。超党派で実現させましょう」(野田議員)、「地元青森の学費滞納率が全国平均を大きく上回っていることが残念。党派を超えて私学助成拡充を実現させたい」(木村議員)、「冒頭に発言した高校生を国会に参考人として招致したい。地元埼玉で、親に言えないバイトをしている高校生の話を聞いた」(伊藤議員)、「教育無償化は党の政策の重要な柱。東京が無償化しても千葉、埼玉の生徒はどうするのか、全国的な課題として検討する」(池下議員)、「子どもたちの学ぶ権利を止めてはいけない。就学支援金を含め国の責任で子どもたちの学びを保障することが急務だ」(小宮山議員)、「毎回の集会に参加している。みなさんの声が政治を動かしていることは間違いない。東京都が所得制限なしの無償化を発表したが、自治体間格差が広がることでもある」(玉木議員)、「高校生も発言しておられたが学費の問題は権利の問題。アルバイトで学ぶことに支障をきたすのは本末転倒。この状況を変えていけるよう無償化をめざす」(山添議員)、「大阪で無償化が発表されたが、残念ながら公立と私立が対立する状況になっている。「学びたいところで学べるようになるのは私たちの権利」と高校生が言ったとおり」(大椿議員)、「公立でも私学でも高校教育の保障は無償で。ハンセン病患者の高校が運動で設立されたように、この学費無償化の運動もみなさんの声でさらに前進する」(阿部議員)、「祖母が自分の教育にお金を出してくれた。学びたい子どもがお金の心配なく学べるよう頑張る」(小沼議員)、「こうして毎回声を届けてくださるみなさんの運動が政治を確実に動かしている。大学の第3子無償化も、そんな中途半端なことでも無償化していく必要がある」(吉良議員)、「国際人権規約13条で、日本は世界に向けて高校・大学の無償化を宣言した。これだけ広い政党の議員が集まっているのだから請願が採択されて当然だ」(宮本議員)、「地元山形では、県に財源がないため私学への支援が中位ほどに落ちてきている。今こそ自治体間格差をなくすために国が無償化制度を拡充すべき」(芳賀議員)、「1104億円という試算、つれない額ではない。あとは政治がどうするかの問題。子どもたちの学びを支えたい」(福島議員)、「文部科学大臣を拝命していた当時も公私間格差是正に意識的に取り組んだ。私学の教育条件向上と父母の教育費負担減は両輪。その実現のために頑張る」(柴山議員)、「私学は子供の成長のために様々な工夫をしているが、それを経済的理由から選べないというのはあってはならない」(井上議員)、「防衛費は5兆円増額、それだけあれば幼稚園から大学まで無償化できる。どこにお金を使うかの問題」(田村議員)、「最前列の高校生は本当に実現してくれるのかと見ていると思う。無償化は国として実施しなくてはならない」(桜井議員)、「大学生時代にはじめて国会を訪れたのは、私学助成拡充の要請だった。学費負担の都道府県格差は不満と不安を募らせるので、なくしていきたい」(泉議員)、「みなさんの力で私学助成が前進してきている。地元でも高校生の声を聞かせてもらっている。将来をつくる高校生の支援が必要だ」(舟山議員)、「3人の子どもの育てている。小さい頃から「公立じゃない」と言ってきたことを反省している。多様な子どもたちに応えられる制度も必要だ」(田島議員)、「高校生をはじめみなさんの声に応えるのが政治の役割。お金の心配なく学校で学べるよう頑張る」(福島議員)